次世代を育む学校教育と地域共創に関する提言書

私たちは、若年層の投票率が低迷する中、若者が自分事として地域の課題を考え、社会をよりよくする政治参加に前向きな次世代を育む学校教育を推進し、年齢や性別を問わず、多様な人々が協働し地域共創を実現することが必要だと考える。

そのために、主権者教育や情報教育の拡充、すべての子どもが分け隔て無く学べる環境づくり、若者が郷土愛を持ち、生き生きと生活できる地域創造、若者が地域の課題を考え、意見が反映されるような仕組みづくりが必要であると考えた。

「主張」を「行動」に表せる次世代がのびのびと育ちやすい福井県にしていくために、政策を以下の通り提言する。

１　主権者教育の機会拡充

若者が政治について自分の意見を持ち、それを活かした活発な議論を行う環境づくりのため、公立学校の授業において模擬選挙、模擬投票の実践や外部講師との連携授業、政策討論会を行う機会等を増やすなど、継続的な主権者教育を進めること。

２　情報リテラシー能力の向上

小学校高学年から高校生までに、ＳＮＳ利用に関する情報モラルをはじめとしたメディア・リテラシー教育や、各メディアのニュースを比較して多角的・批判的に読み取る情報リテラシー教育を情報の授業等に導入し、情報リテラシー能力を向上させること。

３　公立学校の環境改善

すべての子どもが、平等に分け隔て無く学び、不安無く学校に通える環境作りのため、学校施設のバリアフリー化や体育館のクーラー設置を進めること。また、通学時の学生に対する公共交通バスの運賃補助のほか、車のマナー向上に対する施策を拡充すること。さらに、不登校生徒への包括的支援体制をより充実させ、不登校の要因となりうるいじめ問題については、加害者に対する対応を強化すること。

４　若者が郷土愛を持つ地域創造

若者が過ごしやすい魅力ある地域づくりを進め、政治への参加意欲向上につなげるため、中学生や高校生が楽しめる娯楽施設を誘致し、地元愛を育むこと。また、経済効果、地域の活性化のほかスポーツ教育に寄与するサンドーム福井の規模を超えるアリーナの整備を進めること。

５　地域共創のための仕組みづくり

パブリックコメントの窓口を各公立学校に設置し、生徒の主権者意識を向上させるなど、若者の意見をより政策に反映するよう努めること。ふるさとＣＭの YouTube 以外の広報を進めていくこと。学校の授業の一環として地域ボランティアを積極的に組み入れること。

令和７年８月４日
福井県知事 杉 本 達 治 様

福井県立武生東高等学校
チーム EAST QUEST
加藤　大聖　　笠嶋　仁奈
澤﨑　寧久　　山田　結衣